



平成 25 年 4 月 25 日

共同利用・共同研究拠点 資源植物科学研究所の 科学教育プログラム

岡山大学資源植物科学研究所は、「植物遺伝資源・ストレス科学研究拠点」として実績を積みつつ、関連研究者コミュニティのための共同利用・共同研究拠点として活動しています。これらを通して培った研究経験を、植物科学教育として還元するため、様々な取り組みを全所をあげて行っています。

岡山大学資源植物科学研究所は、「植物遺伝資源・ストレス科学研究」の共同利用・共同研究拠点として平成 22 年度より活動を開始し、今年度で 4 年目に入りました。今年度は 47 課題を採用し共同研究を推進します。毎年、年度末に植物ストレス科学シンポジウムを開催し、最新情報の共有と発信に務め、関連研究者コミュニティに好評です。さらに、昨年度より、オオムギ・イネ・野生植物を用いた「東日本大震災被災農地の修復」を目指す共同研究を本格的に開始し、宮城県（津波による塩害）と福島県（放射性セシウムによる汚染）で調査・選抜、そして採集と測定を行ってきました。

このような研究を行っている研究所ですが、植物科学に関する教育にも貢献したいと、所内全体で取り組んでいます。本年度の主な行事は次の通りです。

- 4 月（22 日～26 日）**レンゲ摘み**（幼児対象）（27 園、1,016 名予定）
- 5 月（11 日[土]）**研究所公開**（見学 [オオムギ圃場、屋上緑化プロジェクト]・展示・観察 [顕微鏡]・体験 [培養] 等）
“Fascination of Plants Day”（国際植物の日—世界のみんなで植物の大切さを考える日—）の行事として登録
- 8 月（1 日）**サマー・サイエンス・スクール**（県内高校生対象、40 名程度）
（実験 10 コース、未来博士号授与）
- 8 月（3 日）**公開講座**（倉敷市連携講座として開催）
「オオムギについて：植物から健康食品まで」久野裕 助教
「植物からのバイオ燃料生産」武田真 教授

<お問い合わせ先>

岡山大学資源植物科学研究所 所長

（氏名）山本洋子

（電話番号）086-434-1233

（FAX番号）086-434-1249

（メール）yoko@rib.okayama-u.ac.jp